

【対人援助学マガジン特別企画「リアルタイム執筆者短信」】

【企画者】

大谷多加志（京都光華女子大学）

千葉晃央（京都光華女子大学）

団士郎（立命館大学大学院）

対人援助学マガジンは、対人援助学会の定期刊行誌として2010年6月に刊行が開始された。以後年4回の発行を途切れることなく継続し、2022年9月現在で50号まで発行されている。Webマガジンであることが特徴であり、編集作業もほぼオンライン上で完結し、読者は無料で、いつでもバックナンバーも含めて読むことができる。

この間、執筆者は入れ替わりがありつつも徐々に増加してきており、現在では60名弱の執筆者による300ページ超の雑誌となっている。この対人援助学マガジンの巻頭に毎回掲載されているのが「執筆者短信」である。執筆者短信では、執筆者が各々の近況や、最近心に残ったエピソードなどを自由に記述しており、内容や切り口から執筆者の個性や日常が垣間見える場となっており、短信をきっかけに執筆者や連載に関心を持ち、本編を読んでも…という流れも生まれているようである。

本ワークショップではこの「執筆者短信」をリアルタイムで行うことで、通常の誌面では起こり得ない相互交流や意見交換の機会とし、対人援助学マガジンや対人援助学会のさらなる展開や活性化につながることを目標とする。執筆者はもちろんのこと、執筆者以外の読者の参加も大歓迎であり、参加者と執筆者が幅広く交流する機会となることを期待したい。